

抄 録

クサウオの深浅移動および ヒラメ当歳魚との生息場所の重複

富山 毅*・山田 学・吉田哲也**

Seasonal Migration of the Snailfish *Liparis tanakae* and Their Habitat Overlap
with 0-year-old Japanese flounder *Paralichthys olivaceus*

Takeshi TOMIYAMA*, Manabu YAMADA and Tetsuya YOSHIDA**

Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom 93 (7), 1981-1987 (2013)

クサウオは年魚であり、全長 30cm 以上に成長し、ヒラメ当歳魚の捕食者でもある。ヒラメへの捕食が成立する時期や水深を明らかにするために、福島県沖の様々な水深で底びき網によりヒラメ当歳魚とクサウオを採集した。クサウオは 6 月までは 50m 以浅の場所に生息し、その後 7 月～9 月にかけて 100m 以深へ移動した。そして 10 月～12 月に再び 50m 以浅の場所へ移動し、その時期にヒラメ当歳魚との分布の重複が観察された。また、その時期の 40%以上のヒラメ当歳魚はクサウオに捕食されうるサイズであると推定された。大型のクサウオほど強い魚食性を示し、しばしば異体類が胃から検出された。これらの結果から、クサウオによる食害を避けるためにはヒラメ種苗の放流は 9 月までに実施することが望ましいと考えられた。

*広島大学生物圏科学研究科

**福島県水産課